

にっぽんいち なつかしい ゆうえんちは世代をつなぐ夢のくに

大手町三丁目には、前橋市内で国から登録有形文化財として登録されている 24 件のうち 2 件があります。

2 件とも大手町三丁目 16-3 にあります。「前橋市中央児童遊園（るなばあく）もくば館」と「前橋市中央児童遊園（るなばあく）旧ラジオ塔」です。

「るなばあく」は愛称で、今は広く定着し、若い人は本来の名称を知らない人もいるようですが、前橋市中央児童遊園と言います。

中央児童遊園は前橋市が周辺町村と合併した記念に昭和 29 年に開設開園され、平成 16 年 4 月に運営を民間委託する際、愛称を公募し「前橋るなばあく」として、リニューアルしました。以来 67 年の歳月を経過し、現在に至っています。

リーズナブルな遊具の中の一つにもくば館があります。

もくば館は、昭和 29 年製で鉄板葺、木造平屋建の建物と 5 基の電動木馬が一体で平成 19 年 12 月 5 日に、国の登録有形文化財に登録されました。全国の遊園地で、稼働中の遊具で登録文化財となっている唯一のものとのことです。

園内にもう 1 件ある登録有形文化財が「前橋市中央児童遊園（るなばあく）旧ラジオ塔」です。

旧ラジオ塔は園の北側中央に建っていて、ラジオ放送の受信施設として日本放送協会前橋放送局開局に併せて建設されました。花崗岩の基壇の上に、モルタル塗洗出し仕上げのコンクリート躯体を載せた、高さ 4.9m の常夜灯風の構造物です。わが国初期のラジオ放送関連施設で、昭和 8 年に設置された頃は灯ろうの灯りが灯る部分にラジオが置かれ、NHK のラジオ放送が流され多くの人に親しまれていたとのことです。同時期に造られたラジオ塔は他県にもあり、石川県の兼六公園内のものは、今も多くの人に親しまれているとのことです。

文化財であるとともに、地域、時代、世代を越えて愛され、親しまれている本当に素晴らしい施設であると改めて感じました。